リーディング経営体育成のための「たまねぎ」収益力アップ研修会 開催要領

１ 目的

「たまねぎ」は、①水稲作業との競合が少ないこと、②水田における機械化一貫体系が確立していること、③ＪＡや全農による機械の貸出体制及び収穫後の乾燥調製作業の受託体制が整備されていること等から、基盤整備した大区画ほ場をはじめとした水田での導入に適した品目である。このことから、県では「たまねぎ」を水田園芸拡大品目として位置付け、生産の振興を図っている。

本研修会では、稼げる経営体のモデルとなって産地をけん引するリーディング経営体を育成するため、「たまねぎ」栽培技術及び機械化体系について研修するとともに「たまねぎ」を中心に高い収益を上げている優良経営体を紹介することで、「たまねぎ」の生産拡大を図る。

２ 主催 　　富山県園芸振興推進協議会

３ 共催 　　富山県野菜協会

４ 日時 　　令和７年６月６日（金）　13:30～15:30

５ 場所 　　座学研修 富山市立水橋中部公民館　相山ホール（富山市水橋舘町 312番地1）

現地研修　国営農地再編整備事業水橋地区たまねぎ団地（富山市水橋桜木・狐塚）

６ 日程

|  |  |
| --- | --- |
| 時間 | 場 所 ・ 内 容 |
| 13:15～13:30 | 受付　富山市立水橋中部公民館　相山ホール |
| 13:30～14:30 | （１）座学研修   * たまねぎの単収・収益性向上のポイント * たまねぎで高い収益を確保している優良経営体の事例紹介   県農業技術課広域普及指導センター副主幹普及指導員 向井 和正   * たまねぎの導入支援策について   全農富山県本部米穀園芸部園芸農産課課長 泉 圭介 氏  県農産食品課園芸振興係　技師　中永 悠貴 |
| 14:30～14:45 | 移動（貸し切りバス） |
| 14:45～15:15 | （２）現地研修：国営農地再編整備事業水橋地区たまねぎ団地   * 大区画ほ場におけるたまねぎ生産について * たまねぎの収穫適期判断について |
| 15:15～15:30 | 移動（貸し切りバス） |
| 15:30 | 閉会・解散　富山市立水橋中部公民館　相山ホール |

７ 参集範囲 　たまねぎ生産者、たまねぎの導入意向がある生産者、リーディング経営体・リーディング経営体候補、ＪＡ、全農、市町村、県（30 名程度）